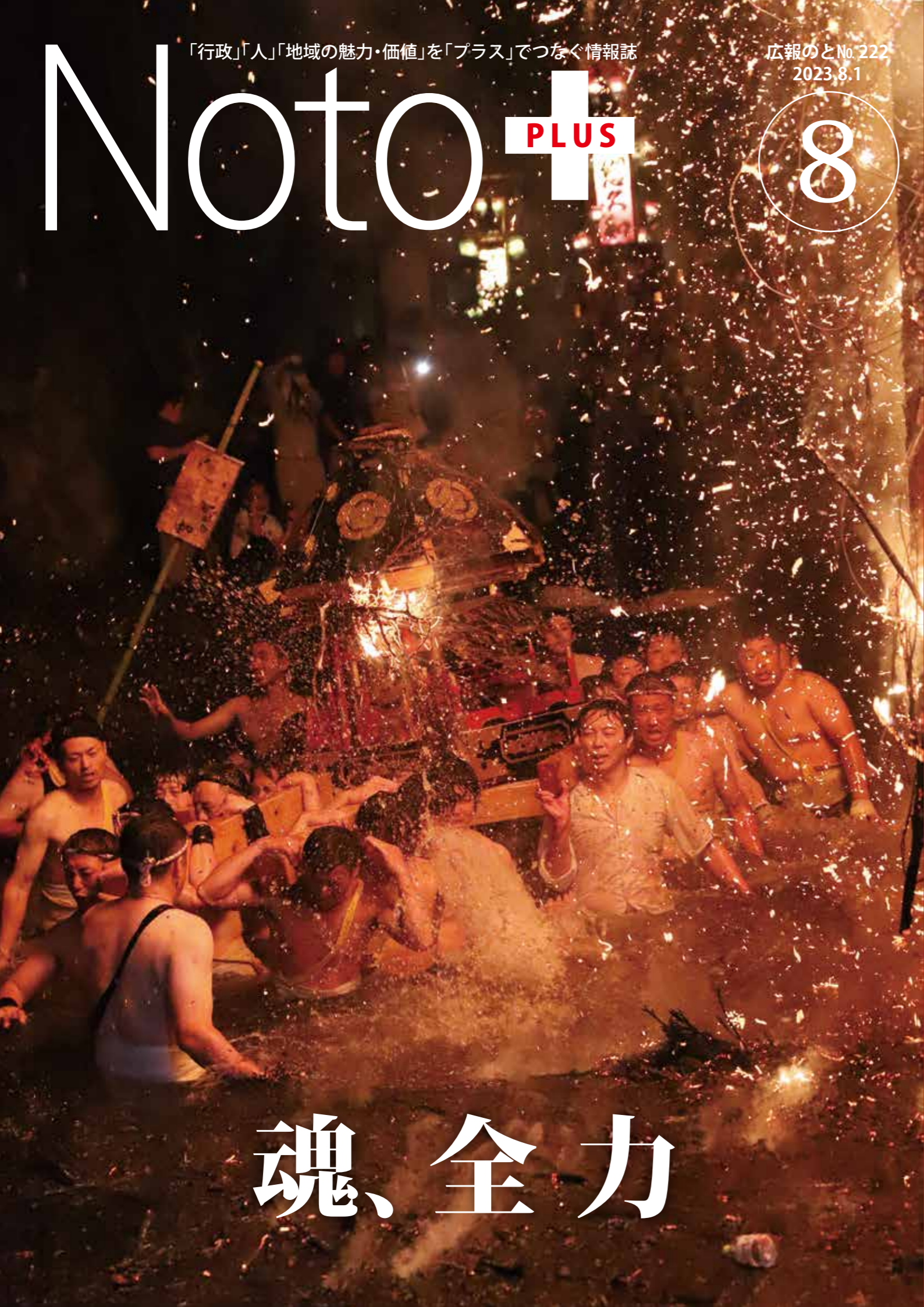


魂、全力



のどちようつ

その五拾式

歴史と文化のミュージウム

■能登町のよう

現在、能登町立美術館で開催中の展示会「能登を描く」では、全長約5mの巻物を展示しています。「奥能登探勝曾々木遊記」と題された巻物は、七五調の紀行文、俳句とともに、色鮮やかに彩色された水彩画が特徴的です。



作者は宇出津に到着した時の様子について、雨の中、宇出津の宿で昼食をとり、立ヶ谷内の峠を越えて町野へ車で向かったと記されています。そして、宇出津港と題された絵には、港に帆を畳んだ帆船、煙を吐く汽船が見え、梶川に架かる橋、まち中を行き交う人々の姿もあります。特徴的なのは、中心に描かれた瓦葺きの屋根で入口がアーチ状の建物です。同じ形の建物は当時の写真を見ても見当たりませんが、宇出津町役場、宇出津病院、宇出津小学校といった建物を見た記憶を頼りに描いたのでしょうか。

なお、所々に男女2人の後ろ姿が描かれており、夫婦での能登旅行の思い出を書き記したものだっただけかもしれません。

奥能登探勝曾々木遊記

輪島市個人蔵。巻子。作者については、巻末に「齋東生記」とある。冒頭に金沢から能登の鳥瞰図を載せ、続いて七尾湾、宇出津港などの町並み・景勝地を詳細に描く。絵の周囲には、七五調の紀行文、俳句が記されている。内容は近代のものと思われ、巻末に「己丑」を訂正して「乙丑」と記載されている。前者なら昭和24年(1949)、後者であれば大正14年(1925)となる。文中に見える立ヶ谷内隧道は昭和10年(1935)の掘削、「町野町」の町制は昭和15年(1940)であるから、前者の作成ということになる。

続☆星のささやき

宇宙の人気者 まんてん仮面 星の観察館「満天星」 ☎ 76-0101

topic ペルセウス座流星群

8月12、13日に夏の風物詩のペルセウス座流星群がピークを迎えます。流れ星は、宇宙にある小さなチリが地球の大気にぶつかって光る天文現象です。いづどこに流れるかわからないので、見えたら嬉しくなりますね。

毎年ある時期になると流れ星の群れ「流星群」が見られます。8月のペルセウス座流星群と12月のふたご座流星群が特に多く流れる流星群です。ペルセウス座流星群は、スィフト・タートル彗星が太陽に近づいた時にまき散らしたチリが素となっている流星群です。

★観察のポイント★

- 日時 おススメの観察時間は「8月12日㊤午後10時～13日㊤午前2時半頃」と「8月13日㊤午後10時～14日㊤午前2時半頃」です。北東の空のペルセウス座から流れ星が四方八方に流れるように見えます。夜中になればなるほどペルセウス座が高く昇るため多く流れます。

満天星 8月のイベント案内

★ペルセウス座流星群観望会

日時 8月12日㊤、13日㊤ 21:30～23:00
(時間内自由参加)

会場 星の観察館「満天星」前広場

持ち物 レジャーシート、懐中電灯、虫よけ
その他 参加費無料、予約不要、雨天曇天中止

■観察場所 街明かりが少なく、空が開けた場所

■見る方角 見る方角はどこでもOK。

■見方 レジャーシートに寝転がったり、アウトドアチェアがあると楽な体勢で観望できます。虫よけ対策もしましょう。

■数 夜中遅くで街明かりが少ない場所では1時間に多くて30個程度の流れ星が見られるでしょう。



「広報のと」8月号の印刷費は一部当たり 43.4円です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA：環境保護印刷推進協議会

環境保護印刷
PIN No.P13-0179
電話保証印刷：クオオネマール認証